

「桐生木材ヤード」竣工

桐生市、みどり市の森林資源の利用拡大に向け、新たな木材集積販売施設「桐生木材ヤード」が桐生市梅田町4丁目に完成し、令和元年6月6日に竣工式が開催されました。

本施設は、桐生市が掲げる「桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の重点施策として桐生市より県内森林組合系統の木材流通や販売を担う、群馬県森林組合連合会へ要請し実現したものです。

桐生木材ヤードは、今まで桐生市梅田町にあった既存市場の機能を継承・拡充し、桐生市・みどり市の地域材をより多く集積し、A・B材（住宅用材）については協定販売を中心に製材工場など多様な需要者へ販売し、いままで林内に放置されていた未利用材C・D材（低質材）については重量買取により受け入れ、木質バイオマス発電施設へ販売し、年間取り扱い量はA・B材20,000 m^3 、C・D材5,000 m^3 （t）を当面の目標として、群馬県森林組合連合会が運営主体となり桐生広域森林組合、有限会社林開が運営協力し、東毛地域の森林環境整備や森林所有者への還元、林業従事者雇用促進の向上につなげていくこととしています。

